様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校柳川リハビリテーション学院
設置者名	学校法人高木学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門	理学療法学科	夜・通信	３４単位	９単位	
	作業療法学科	夜・通信	３９単位	９単位	
	言語聴覚学科	夜・通信	３１単位	９単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 2
https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/classsubject_list.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校柳川リハビリテーション学院
設置者名	学校法人高木学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 9
https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/2019_directorlist.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	国立大学法人総長	H30.6.1 ～R2.5.31	組織運営体制のチェック機能
非常勤	他の学校法人理事	H29.9.29 ～R2.5.31	組織運営体制のチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	専門学校柳川リハビリテーション学院
設置者名	学校法人高木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画の作成・公表に係る取組の概要） 毎年 12 月～2 月にかけて、次年度の授業科目の担当講師を選定。各担当講師に次年度の授業計画（シラバス）の作成を当学院の書式で依頼。 毎年 3 月に、次年度の授業計画（シラバス）集の印刷を依頼し冊子を作成。 毎年 4 月に、授業計画（シラバス）集を担任より学生へ配布し、その使用方法や目的をオリエンテーションしている。また、担当講師より、授業初日にシラバスに基づいたオリエンテーションを実施している。	
授業計画の公表方法	HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 3https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/syllabus_pt.pdf 4https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/syllabus_ot.pdf 5https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/syllabus_st.pdf
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学修意欲の把握に関しては、担任制を導入し定期的な面接を行っている。授業態度や成績状況によっては、面接を随時行い状況把握に努めている。
試験等に関しては、原則は各科目の講師が担当するが、定期試験期間を定めて実施している。また、科目によっては、試験のみではなく、小テスト、レポート、実技試験等を含めて実施している。卒業論文に関しては、3 年次の 10 月または 11 月に研究発表会を実施し、論文内容だけでなくプレゼンテーション方法も加味して評価している。
単位の授与に関しては、年度末の運営会議の議を経て行っている。

尚、学則や履修規定に関しては、「学生案内」に記載し、毎年 4 月に担任より学生に配布しオリエンテーションを行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

各授業科目の成績は、100 点満点とし、60 点以上を合格としている。定期試験以外に、小テスト、レポート、実技試験等を加味して成績評価を行う場合に、1 点未満の端数があるときは、四捨五入する。また、学生指導要録への記入は、以下の基準で評定を行う。
成績の管理については、履修科目の点数での成績を合計し、合計点の平均を算出（100 点満点で点数化）する。これにより全体の中での下位 1/4 に該当する成績者を管理していく。
また、各クラスや各科目の成績状況に関しては、運営会議に提出し状況把握に努めており、個人の成績表に関しては、期末毎に郵送している。

認定	100 点法
A	100～80 点
B	79～70 点
C	69～60 点
D	59 点以下
N	単位認定

尚、各科目の成績評価の方法は「授業計画（シラバス）」、学則や履修規定は「学生案内」の冊子に記載し、毎年 4 月に担任より学生に配布しオリエンテーションを行っている。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 1 https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/graduation_certification.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業に関しては、各クラスで定める授業科目及び単位数を修得していることとなっている。条件を満たした者については、卒業判定会議の議を経て、学院長が卒業を認定する。学院長は卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。卒業式は、毎年３月に実施している。
尚、学則および履修規定は、「学生案内」に記載、毎年４月に担任より学生へ配布しオリエンテーションを行なっている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 1 https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/graduation_certification.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校柳川リハビリテーション学院
設置者名	学校法人高木学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表 収支計算書又は損益計算書 財産目録	HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 6 https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/2019_financialdocuments.pdf
事業報告書	HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 7 https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/2019_businessreport.pdf
監事による監査報告（書）	HOME ＞ 学院紹介 ＞ 情報公開 ＞ 8 https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2019/08/2019_auditreport.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療分野	医療専門課程	理学療法学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,970時間／97単位 単位時間／単位	1,695時間	360時間	855時間	0時間	60時間
			2,970単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	102人	0人	6人	23人	29人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）厚生労働省から出された指定規則に則ったカリキュラムを構築。 毎年4月に、授業計画（シラバス）集を担任より学生へ配布し、その使用方法や目的をオリエンテーションしている。また、担当講師より、授業初日にシラバスに基づいたオリエンテーションをお願いしている。 また、授業アンケートにより、内容や計画の検討・修正等も行っている。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目の成績は、100点満点とし、60点以上を合格としている。定期試験以外に、小テスト、レポート、実技試験等を加味して成績評価を行う場合に、1点未満の端数があるときは、四捨五入する。
卒業・進級の認定基準
（概要）試験等に関しては、原則は各科目の講師が担当するが、定期試験期間を定めて実施している。また、科目によっては、試験のみではなく、小テスト、レポート、実技試験等を含めて実施している。 進級や単位の授与に関しては、年度末の運営会議の議を経て行っている。 また、卒業に関しては、各クラスで定める授業科目及び単位数を修得してい

ることとなっている。条件を満たした者については、卒業判定会議の議を経て、学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）担任、副担任を配置。ホームルームや年2回の個人面談等を通して、個々の学生の状況を把握。成績が低迷している学生に関しては、個別の学修指導の他に、家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。その他、必要に応じて、スクールカウンセラーへの紹介も行っている。
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 （100%）	0人 （ 0%）	21人 （80.8%）	5人 （19.2%）

（主な就職、業界等） 病院、診療所、介護保険施設、障害者支援施設
（就職指導内容）就職説明会、キャリア支援講座（自己分析、選考対策、就職セミナー、面接研修、個別相談等）
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格取得
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	4人	4.4%

（中途退学の主な理由）進路変更、勉学意欲喪失、経済的理由
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任を配置。ホームルームや年2回の個人面談等を通して、個々の学生の状況を把握。成績が低迷している学生に関しては、個別の学修指導等を必要に応じて実施している。職業に対する興味・関心の低下に関しては、個別面談の回数を増やす以外に、施設見学やボランティアを通し有資格者の働く姿を見る機会を提供したりしている。また、家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。その他、スクールカウンセラーも配置して対応している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療分野	医療専門課程	作業療法学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000時間／97単位 単位時間／単位	1,635時間	360時間	945時間	0時間	60時間
			3,000単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	69人	0人	6人	21人	27人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）厚生労働省から出された指定規則に沿ったカリキュラムを構成。
毎年4月に、授業計画（シラバス）集を担任より学生へ配布し、その使用方法や目的をオリエンテーションしている。また、担当講師より、授業初日にシラバスに基づいたオリエンテーションをお願いしている。
また、授業アンケートにより、内容や計画の検討・修正等も行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）各授業科目の成績は、100点満点とし、60点以上を合格としている。定期試験以外に、小テスト、レポート、実技試験等を加味して成績評価を行う場合に、1点未満の端数があるときは、四捨五入する。

卒業・進級の認定基準

（概要）試験等に関しては、原則は各科目の講師が担当するが、定期試験期間を定めて実施している。また、科目によっては、試験のみではなく、小テスト、レポート、実技試験等を含めて実施している。進級や単位の授与に関しては、年度末の運営会議の議を経て行っている。
また、卒業に関しては、各クラスで定める授業科目及び単位数を修得していることとなっている。条件を満たした者については、卒業判定会議の議を経て、学院長が卒業を認定する。

学修支援等

（概要）担任、副担任を配置。ホームルームや年2回の個人面談等を通して、個々の学生の状況を把握。成績が低迷している学生に関しては、個別の学修指導の他に、家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。その他、必要に応じて、スクールカウンセラーへの紹介も行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
17人 （100%）	0人 （ 0%）	14人 （ 82.4%）	3人 （ 17.6%）

（主な就職、業界等）病院、診療所、介護保険施設、障害者支援施設

（就職指導内容）・就職説明会
・キャリア支援講座（自己分析、選考対策、就職ｾﾐﾅｰ、面接研修、個別相談等）

（主な学修成果（資格・検定等））作業療法士国家試験受験資格取得

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55　人	5 人	9.1%

（中途退学の主な理由）進路変更、勉学意欲喪失、経済的理由

（中退防止・中退者支援のための取組）
担任、副担任を配置。ホームルームや年 2 回の個人面談等を通して、個々の学生の状況を把握。成績が低迷している学生に関しては、個別の学修指導等を必要に応じて実施している。職業に対する興味・関心の低下に関しては、個別面談の回数を増やす以外に、施設見学やボランティアを通し有資格者の働く姿を見る機会を提供したりしている。また、家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。その他、スクールカウンセラーも配置して対応している。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療分野	医療専門課程	言語聴覚学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
		3,435 時間／109 単位	2,490 時間	405 時間	540 時間	0 時間	0 時間
3 年	昼	単位時間／単位	3,435 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	57 人	0 人	5 人	46 人	51 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）厚生労働省から出された指定規則に沿ったカリキュラムを構成。
毎年 4 月に、授業計画（シラバス）集を担任より学生へ配布し、その使用方法や目的をオリエンテーションしている。また、担当講師より、授業初日にシラバスに基づいたオリエンテーションをお願いしている。
また、授業アンケートにより、内容や計画の検討・修正等も行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）各授業科目の成績は、100 点満点とし、60 点以上を合格としている。定期試験以外に、小テスト、レポート、実技試験等を加味して成績評価を行う場合に、1 点未満の端数があるときは、四捨五入する。

卒業・進級の認定基準

（概要）試験等に関しては、原則は各科目の講師が担当するが、定期試験期間を定めて実施している。また、科目によっては、試験のみではなく、小テスト、レポート、実技試験等を含めて実施している。

進級や単位の授与に関しては、年度末の運営会議の議を経て行っている。 また、卒業に関しては、各クラスで定める授業科目及び単位数を修得していることとなっている。条件を満たした者については、卒業判定会議の議を経て、学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）担任、副担任を配置。ホームルームや年２回の個人面談等を通して、個々の学生の状況を把握。成績が低迷している学生に関しては、個別の学修指導の他に、家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。その他、必要に応じて、スクールカウンセラーへの紹介も行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 （100%）	0 人 （　　0%）	10 人 （62.5%）	6 人 （37.5%）
（主な就職、業界等） 病院、診療所、介護保険施設、障害者支援施設			
（就職指導内容） 就職説明会 キャリア支援講座（自己分析、選考対策、就職セミナー、面接研修、個別相談等）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士国家試験受験資格　取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	5 人	8.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、勉学意欲喪失、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任を配置。ホームルームや年２回の個人面談等を通して、個々の学生の状況を把握。成績が低迷している学生に関しては、個別の学修指導等を必要に応じて実施している。職業に対する興味・関心の低下に関しては、個別面談の回数を増やす以外に、施設見学やボランティアを通し有資格者の働く姿を見る機会を提供したりしている。また、家族との連絡調整や必要に応じて三者面談等を行いながら対応している。その他、スクールカウンセラーも配置して対応している。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
全学科	200,000 円	700,000 円	300,000 円	教科書代、教材費、後援会費が別途必要
修学支援（任意記載事項）				

ｂ） 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 下記ホームページ参照 https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/about/information/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
企業等委員、在校生の保護者代表、卒業生等を含めた評価委員会を構成する予定。 評価委員会では、当学院の課題や現状の取り組み・今後の取り組み等、具体的な内容に沿った項目について評価してもらい、学校運営の改善に取り組んでいく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020 年度から結果を公表するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 2020 年度から評価を確実に実施し、当学院のホームページに公表する		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ） 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://yanagawa.takagigakuen.ac.jp/ （資料請求先：infoyrg@takagigakuen.ac.jp）